

1 調査結果の概要

本調査の調査結果の主な内容について、以下に概要として示す。

1－1 植生被覆率・緑被率・みどり率（詳細→P16）

表1-1 各種指標率調査結果

指標区分	今回調査	前回調査	増減	精度	対象とする緑地
植生被覆率	18.3%	19.3%	▲ 1.0%	0.01㎡	植生に被われた区域
緑被率	20.3%	19.6%	0.7%	1㎡	(樹木被覆地+草地+農地+屋上緑化)区域
樹木被覆地率	14.2%	14.3%	▲ 0.1%	1㎡	樹木に被われた区域
草地率	5.0%	4.2%	0.8%	1㎡	草本類で被われた区域
農地率	0.7%	0.8%	▲ 0.1%	1㎡	農地(樹木畑・果樹園含む)
屋上緑化率	0.4%	0.3%	0.1%	1㎡	屋上(人工地盤上)緑化地
緑被率	15.5%	14.3%	1.2%	100㎡	(樹木被覆地+草地+農地+屋上緑化)区域
樹木被覆地率	10.6%	9.8%	0.8%	100㎡	樹木に被われた区域(屋上緑化含む)
草地率	4.2%	3.7%	0.5%	100㎡	草本類で被われた区域
農地率	0.7%	0.8%	▲ 0.1%	100㎡	農地(樹木畑・果樹園含む)
みどり率	24.2%	23.5%	0.7%	1㎡	(公園の全区域+緑被地※+水面※)区域 ※公園区域に含まれないもの

※小数第2位で四捨五入しているため集計値が合わない場合がある。

1－2 樹木調査（詳細→P69）

表1-2 大径木調査結果

大径木本数	今回調査	前回調査	増減	上位樹種
直径70cm以上	1,701本	1,416本	285本	サクラ、ケヤキ、クスノキ
直径100cm以上	87本	77本	10本	ケヤキ、サクラ、イチョウ

1－3 樹林地調査（詳細→P87）

1か所あたり300㎡以上で、樹木の平均高さが5m以上の樹木被覆地を「樹林地」と定義し、抽出した「樹林地」について分布状況等の集計を行なった。

また、平成21年度調査で「自然性等を有する樹林地」と判定した47箇所及び「社寺境内にある樹林地」9箇所について現地調査を行った。

表1-3 面積規模別樹林地の状況（1か所300㎡・平均高さ5m以上）

地形区分	単位	面積規模				合計
		500㎡未満	500～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上	
合計	箇所	447	380	272	82	1,181
	面積(㎡)	175,646	258,525	448,074	717,758	1,600,003

表1-4 樹林形態別の自然性等を有する樹林地の状況

樹林形態	箇所
独立林	19
独立性のある屋敷林	2
屋敷林	18
社寺境内林	9
その他	4
合計	52

1－4 屋上（人工地盤上）緑化調査（詳細→P106）

表1-5 屋上（人工地盤上）緑化の現況

地域	平成21年		平成26年		増減	
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
区全域	2,498	8.25	3,630	11.31	1,132	3.06

※対象とする緑地は、建物の屋上部分、ベランダ部分および、建物以外の構造物等の人工地盤上にある緑地

2 調査の概要

2-1 調査の目的

本調査は、昭和49年以降5年毎に実施している「板橋区緑地・樹木の実態調査」の第9回目で、区全域の緑地・樹木の現況と推移を把握し、今後の緑地・公園施策の基礎資料とするため、航空写真判読と現地踏査による緑地・樹木の実態調査を行った。

2-2 調査の範囲

本調査は、板橋区全域 32.17km²を対象として行った。

2-3 調査の手順

本調査の手順は、図2-1に示すとおりである。

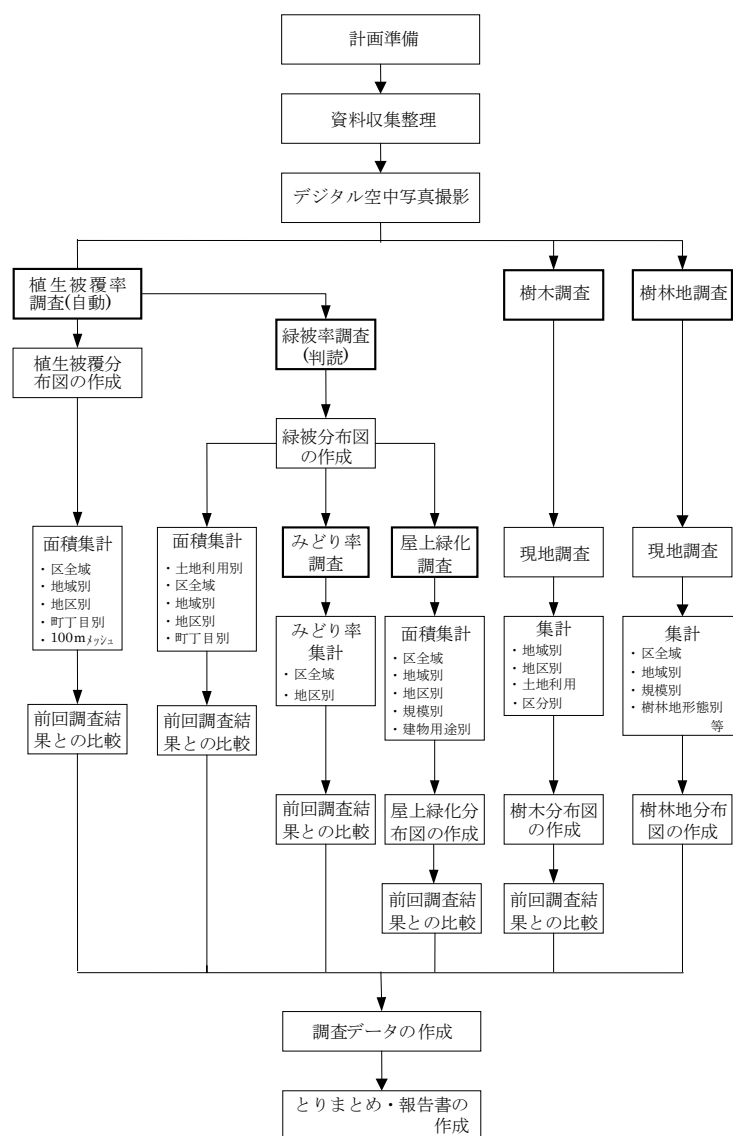


図 2-1 調査の手順

2-4 集計単位

1) 地域、地区、町丁目

本調査では、以下に示す単位で集計を行った（図2-2、表2-1）。

- ① 地域単位・・・5地域
- ② 地区単位・・・32地区
- ③ 町丁目界単位・・・134町丁目

図2-2は、地域名と町丁目名を記してある。地区名を含めた5地域の構成は、表2-1に示した。

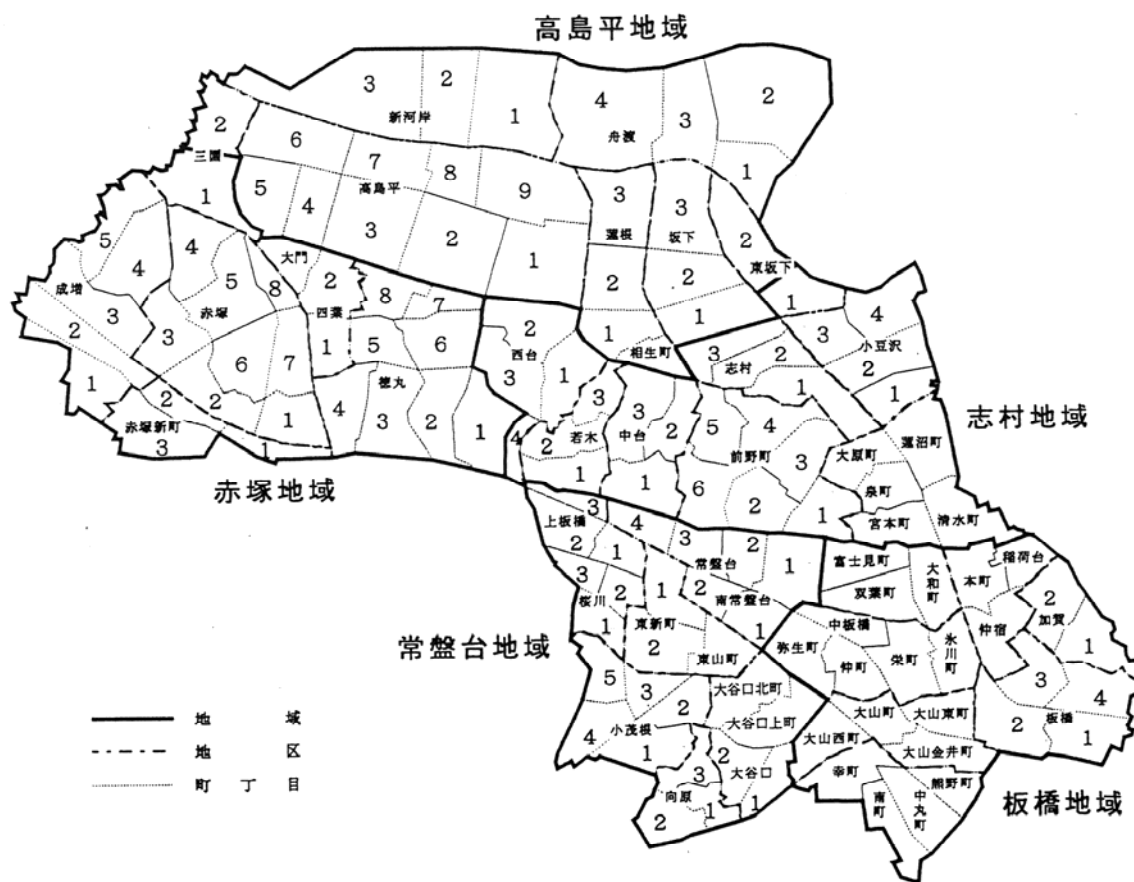


図 2-2 集計単位

※ 数値の取り扱いについて

- ・ 報告書の本文のとりまとめは、巻末（資料編）に付けた各緑被状況一覧表の数値をもとに作成している。
- ・ 各図表の累計によっては、縦横の集計があわない箇所等、一部数値の異なる箇所があるが、これは集計上表示桁数に合わせ四捨五入しているためである。

表 2-1 集計単位の構成

5 地域 単 位	町界（地区） 単位	町丁目界単位	備 考
板 橋	板橋	板橋 1 ～ 4	
	加賀	加賀 1 ～ 2	
	仲宿	仲宿、本町、稲荷台	
	幸町	幸町、中丸町、熊野町、南町	
	大山	大山町、大山東町、大山西町、大山金井町	
	中板橋	中板橋、弥生町、仲町、栄町、氷川町	
	富士見町	富士見町、双葉町、大和町	
常 盤 台	常盤台	常盤台 1 ～ 4、南常盤台 1 ～ 2	
	向原	向原 1 ～ 3	
	大谷口	大谷口 1 ～ 2、大谷口上町、大谷口北町	
	小茂根	小茂根 1 ～ 5	
	東新町	東新町 1 ～ 2、東山町	
	上板橋	上板橋 1 ～ 3、桜川 1 ～ 3	
志 村	蓮沼町	蓮沼町、泉町、大原町、宮本町、清水町	東坂下 2 丁目は 5 地域単位では 高島平地域とす る。
	小豆沢	小豆沢 1 ～ 4	
	志村	志村 1 ～ 3	
	前野町	前野町 1 ～ 6	
	中台	中台 1 ～ 3	
	若木	若木 1 ～ 3	
	東坂下	東坂下 1 ～ 2	
	西台	西台 1 ～ 4	
赤 塚	徳丸	徳丸 1 ～ 8	三園 2 丁目は、 5 地域単位では 高島平地域とす る。
	四葉	四葉 1 ～ 2、大門	
	赤塚	赤塚 1 ～ 8	
	赤塚新町	赤塚新町 1 ～ 3	
	成増	成増 1 ～ 5	
	三園	三園 1 ～ 2	
高 島 平	坂下	坂下 1 ～ 3	
	蓮根	蓮根 1 ～ 3、相生町	
	舟渡	舟渡 1 ～ 4	
	高島平	高島平 1 ～ 9	
	新河岸	新河岸 1 ～ 3	

3 地域の概要

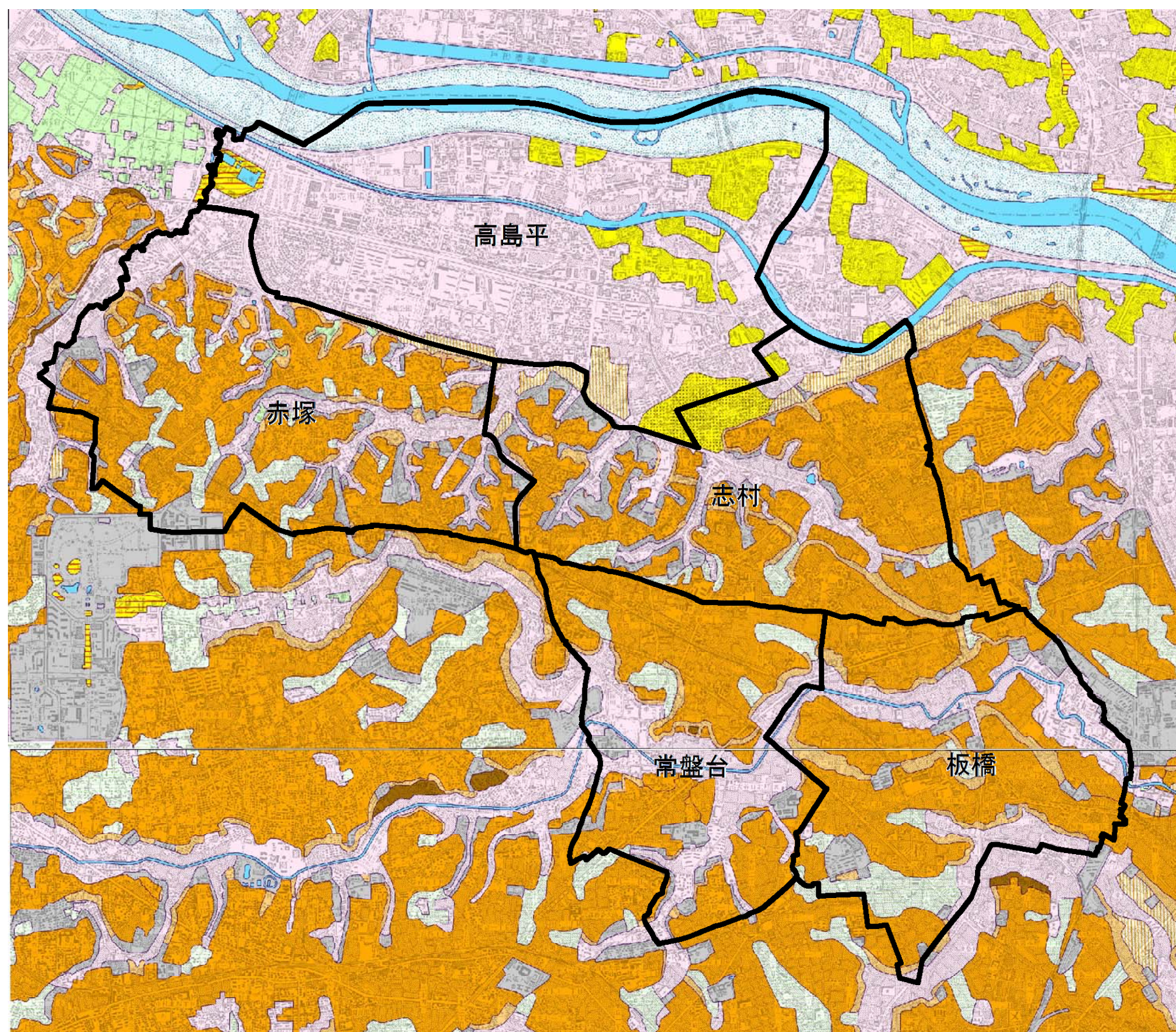
3-1 位置および地形

- ・板橋区は東京都23区の北西部に位置し、東は北区、西は練馬区、南は豊島区、北は荒川を挟んで埼玉県戸田市、和光市と接している。
- ・区の面積は32.22km²（平成26年10月1日現在）で、23区中9番目の規模である。
※この調査においては、統計処理上、それ以前の公表区面積32.17km²を使用した。
- ・板橋区の地形は平均海拔30m前後の武蔵野台地と荒川沖積低地により形成されており、荒川を本谷として、白子川・出井川（通称逆川）・石神井川・谷端川などの谷が縦横に走り、起伏に富んでいる。
- ・武蔵野台地と荒川の沖積低地の間は斜面になっており、比較的樹林地が多く残存する崖線を形成している。



出典：国土数値情報 行政区域データ

図 3-1 板橋区の位置



I 地形分類

山地斜面等	谷底平野・氾濫平野
壁岩・露岩	海岸平野・三角洲
地すべり(滑落崖)	後背低地
地すべり(移動体)	旧河道
更新世段丘	高水敷・低水敷・浜
完新世段丘	湿地
山麓堆積地形	河川・水涯線及び水面
扇状地	切土地
自然堤防	平坦化地
砂州・砂堆・砂丘	農耕平坦化地
天井川・天井川沿いの微高地	高い盛土地
凹地・浅い谷	盛土地・埋立地
	干拓地
	改変工事中の区域

出典：国土交通省 土地条件図 人工地形更新版（平成 25 年度版）

図 3-2 土地条件図

3-2 人口

- ・ 板橋区の人口は、戦後昭和20年代、30年代に急激に増加した。
- ・ その後増加の伸びは徐々に緩やかとなって、平成2年をピークに平成7年には減少に転じたが、平成12年調査より増加に転じている。
- ・ 平成26年12月1日現在の人口は543,840人、世帯数は286,370世帯、1世帯当たり人員は1.90人であった。

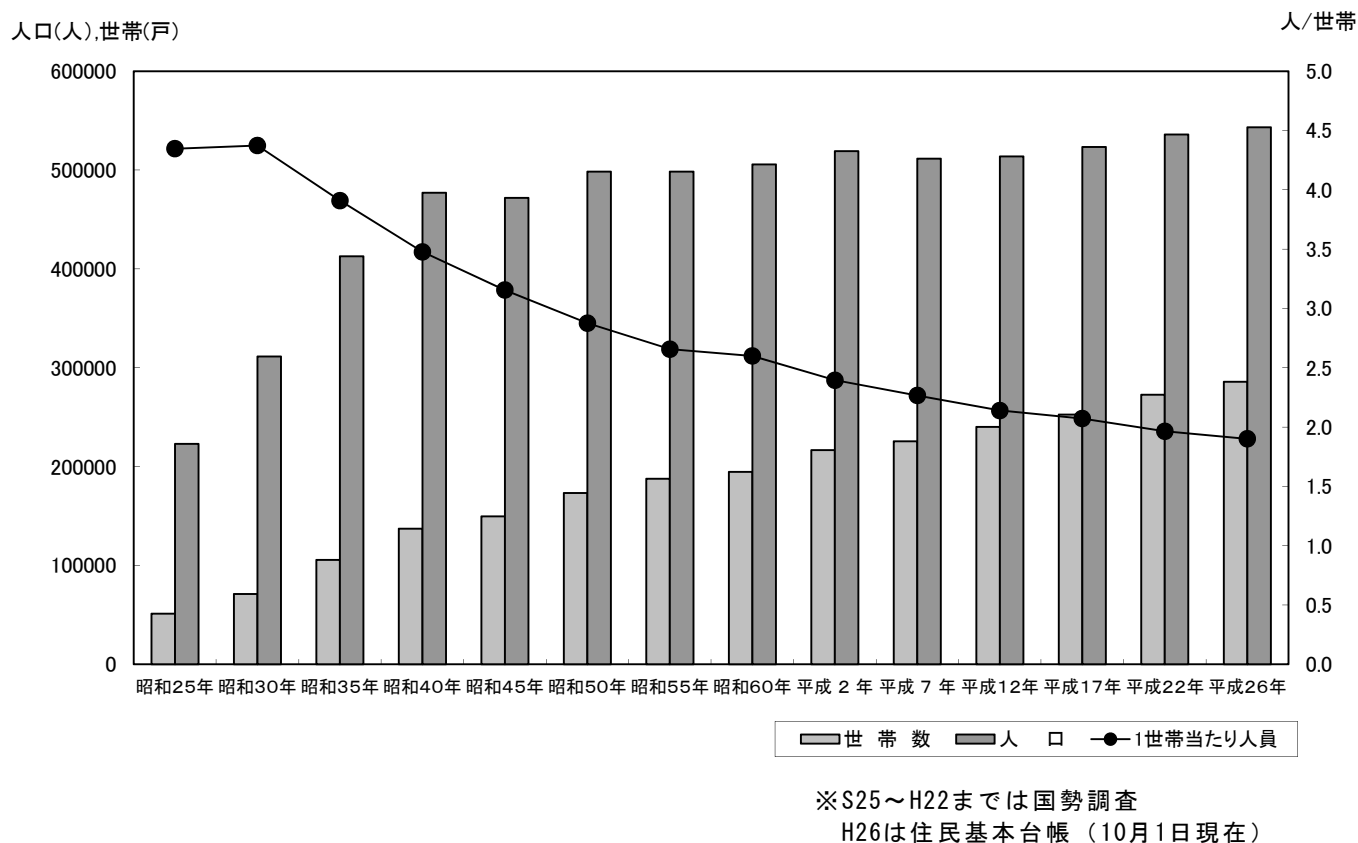


図3-3 人口、世帯数、1世帯当たり人員の推移

3-3 土地利用状況

- ・ 平成23年度の東京都土地利用現況調査結果による板橋区の土地利用状況は、土地利用比率では公共用地、商業用地、住宅用地、工業用地（以下、「宅地」という）の合計が61.0%、道路が19.6%、公園等7.3%である。
- ・ 建物用途別に宅地を5分類した構成比では、住宅用地が62.0%、公共用地が14.2%、工業用地が12.3%、商業用地が11.5%で住宅都市となっている。
- ・ また集合住宅用地の比率が30.4%で区部平均26.2%を上回っており、専用工場用地比率は5.8%で区部では比較的高い。
- ・ 表3-1は、東京都土地利用現況データを元に緑被等の集計用に分類を行ったもので、図3-6は緑被集計用の分類で土地利用状況を示したものである。
- ・ 工業用地は区北部の低地部を中心に分布している。

表 3-1 土地利用現況データの区分構成

|--|

- ・平成18年と平成23年の東京都土地利用現況調査結果による板橋区の土地利用状況の変化を表3-2に示す。水面面積で調整して全体面積を3,217.0haとしているため、東京都の数値とは異なる。
- ・住宅用地は44.2ha増加しているが、工業用地が22.5ha、空地が16.3ha減少しており、工業用地や空地が住宅用地に用途変更していると考えられる。
- ・23区の土地利用比率と比較すると宅地用地はやや多く、宅地用地比率の内訳をみると、23区に比べ住宅用地及び工業用地は比較的多く、商業用地は比較的少ないことが分かる。

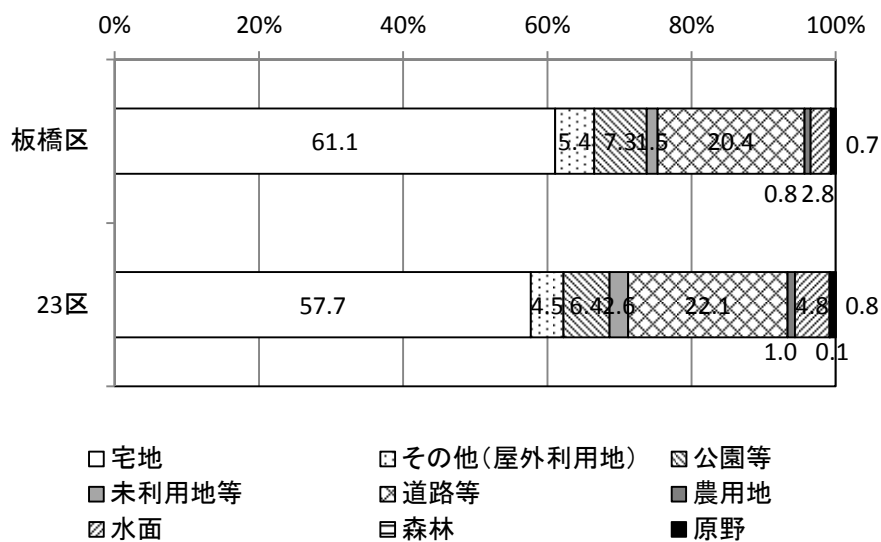
表3-2 東京都土地利用現況調査の変化（平成18年、平成23年）

土地利用		平成18年		平成23年		増減	
		面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比(%)	面積(ha)	構成比ポイント差
公共用地	官公庁施設	8.5	0.3	8.4	0.3	-0.1	0.0
	教育施設	145.3	4.5	142.1	4.4	-3.2	-0.1
	文化施設	3.8	0.1	3.8	0.1	0.0	0.0
	宗教施設	23.2	0.7	23.8	0.7	0.6	0.0
	医療施設	23.2	0.7	25.3	0.8	2.1	0.1
	厚生施設	20.0	0.6	22.6	0.7	2.7	0.1
	供給施設	24.3	0.8	24.1	0.7	-0.1	-0.1
	処理施設	27.7	0.9	28.7	0.9	1.0	0.0
	計	275.9	8.6	278.7	8.7	2.8	0.1
商業用地	事務所建築物	48.9	1.5	50.4	1.6	1.5	0.1
	商業施設	42.6	1.3	48.3	1.5	5.7	0.2
	公衆浴場等	2.9	0.1	2.5	0.1	-0.4	0.0
	住商併用建物	120.4	3.7	111.3	3.5	-9.1	-0.2
	宿泊施設	1.4	0.0	1.3	0.0	-0.1	0.0
	遊興施設	5.6	0.2	5.6	0.2	0.0	0.0
	スポーツ施設	6.8	0.2	6.2	0.2	-0.6	0.0
	計	228.6	7.1	225.7	7.0	-2.9	-0.1
住宅用地	独立住宅	607.6	18.9	620.4	19.3	12.8	0.4
	集合住宅	565.5	17.6	596.9	18.6	31.4	1.0
	計	1,173.2	36.5	1,217.4	37.8	44.2	1.3
工業用地	専用工場	127.2	4.0	114.9	3.6	-12.3	-0.4
	住居併用工業	44.3	1.4	38.4	1.2	-5.9	-0.2
	運輸施設	45.6	1.4	45.3	1.4	-0.3	0.0
	倉庫施設	48.0	1.5	43.9	1.4	-4.1	-0.1
	計	265.0	8.2	242.5	7.5	-22.5	-0.7
空地	屋外利用地	184.1	5.7	173.6	5.4	-10.5	-0.3
	公園・運動場等	237.1	7.4	234.1	7.3	-3.0	-0.1
	未利用地等	51.5	1.6	48.7	1.5	-2.8	-0.1
	計	472.7	14.7	456.4	14.2	-16.3	-0.5
道路		629.6	19.6	631.9	19.6	2.3	0.0
鉄道		27.1	0.8	24.5	0.8	-2.6	0.0
農業用地・農用地	農林漁業施設	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
	畑	29.3	0.9	24.5	0.8	-4.8	-0.1
	樹園地	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.1
	計	31.2	1.0	26.4	0.8	-4.8	-0.2
水面・河川		89.7	2.8	90.0	2.8	0.3	0.0
林野	原野	23.6	0.7	23.2	0.7	-0.4	0.0
	森林	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
	計	24.0	0.7	23.6	0.7	-0.4	0.0
区全体		3,217.0	100.0	3,217.0	100.0	0.0	0.0

※小数第2位で四捨五入しているため、集計値が合わない場合がある。

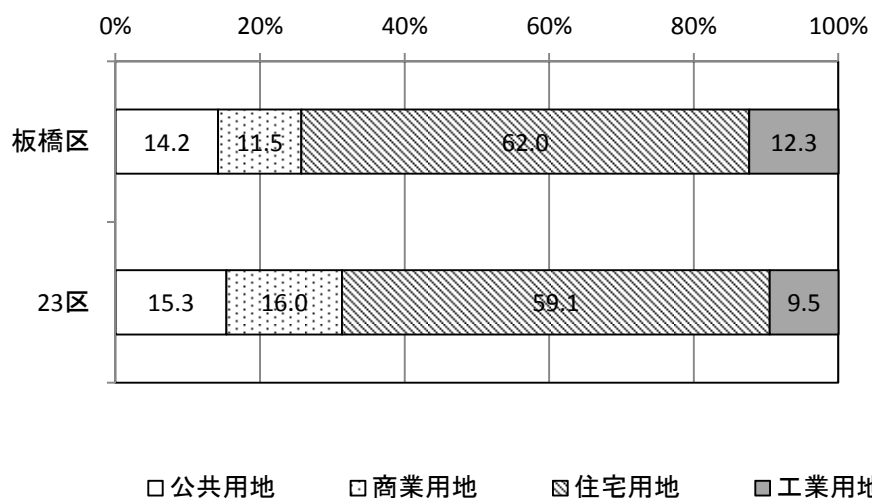
水面面積で調整を行い区全体面積は3,217haとする。

宗教施設は東京都土地利用現況データの分類による「寺社、教会、町内会館」である。



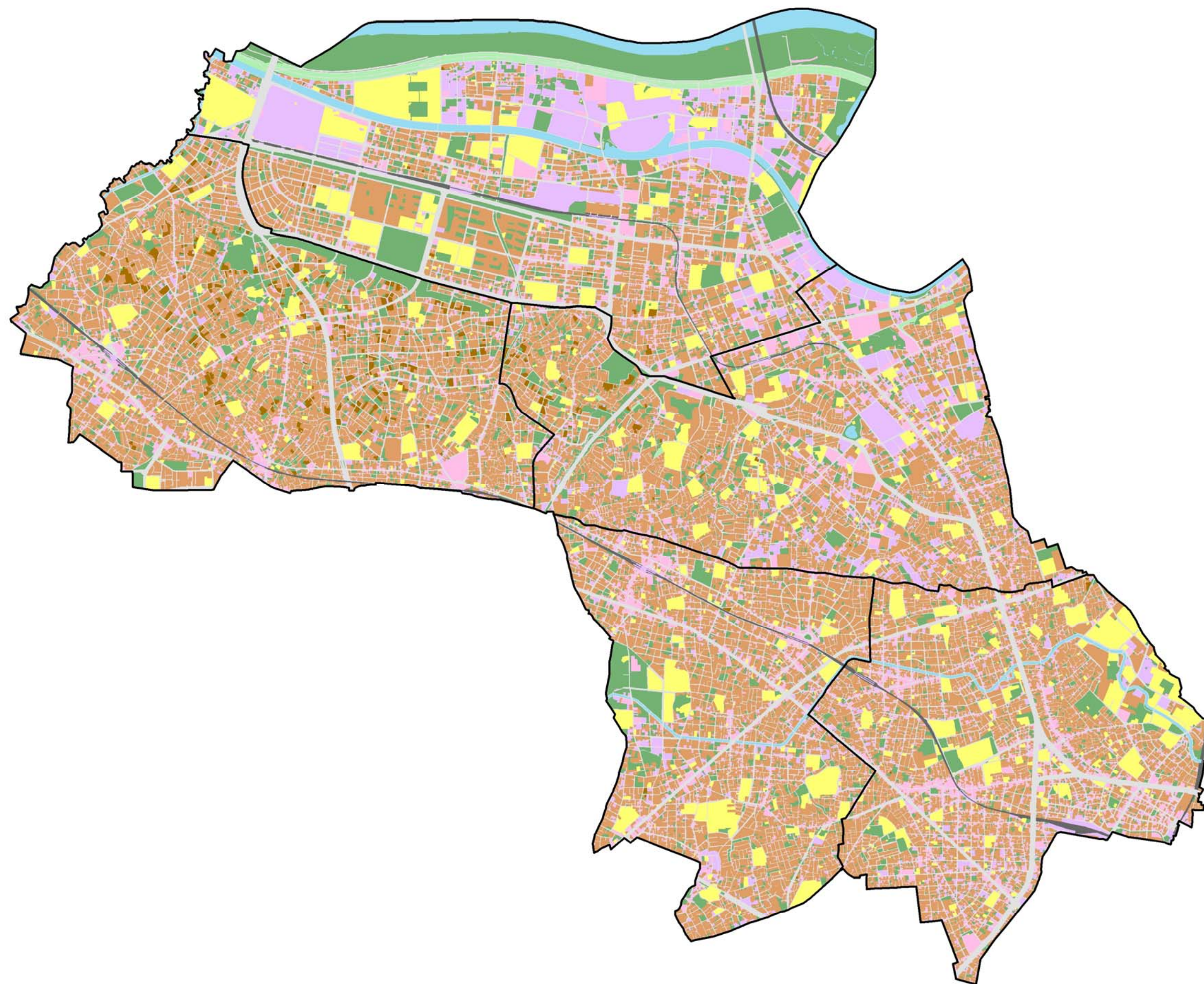
※23 区の数値の出典は、「東京都土地利用 平成 23 年東京都区部」

図3-4 土地利用比率の23区との比較（平成23年）



※23 区の数値の出典は、「東京都土地利用 平成 23 年東京都区部」

図3-5 宅地用地比率の23区との比較（平成23年）



土地利用区分

- 公共用地
- 商業用地
- 住宅用地
- 工業用地
- 空地
- 道路
- 鉄道
- 農用地
- 水面
- 林野



0 250 500 1,000 1,500
m

図 3-6 土地利用区分

出典：平成 23 年度東京都土地利用現況調査

3-4 公園・緑地状況

- ・ 区内の公園緑地（平成26年4月1日現在）は、398箇所、2,022,779.74㎡である。
- ・ 公園種別ごとの内訳は、区立の都市公園が342箇所、1,422,121.24㎡、区立のその他が52箇所、131,137.64㎡、都立公園が4箇所、469,520.86㎡である。
- ・ 1人当たり公園面積は、平成26年4月時点の本区の人口が540,549人より3.74㎡/人である。
- ・ 表3-3以外に「自主管理緑地広場」が10箇所、34,791.13㎡ある。

表3-3 公園緑地状況（平成26年4月1日現在）

種別		箇所数	面積(㎡)
都市公園	街区公園	326	486,055.69
	近隣公園	9	175,385.78
	運動公園	1	70,381.81
	特殊公園	1	10,603.65
	都市緑地	3	678,081.77
	都市林	2	1,612.54
	小計	342	1,422,121.24
その他	ポケットパーク	11	3,950.28
	遊び場	12	12,677.57
	市民緑地	2	1,863.74
	緑地広場	10	7,799.16
	緑道	10	101,871.47
	その他	7	2,975.42
	小計	52	131,137.64
都立公園		4	469,520.86
合計		398	2,022,779.74



図3-7 公園分布図（平成26年4月現在）

3-5 いたばしグリーンプラン2020（緑の基本計画）

- ・ 平成23年3月策定板橋区緑の基本計画「いたばしグリーンプラン2020」は、計画期間が平成23年度から平成32年度の10か年である。
- ・ 緑の将来像「みんなで育む緑にかこまれて あなたと私が輝くまち”板橋”」
- ・ 基本方針

基本方針Ⅰ 板橋らしい風土と自然環境を支える緑を守り、再生します。

基本方針Ⅱ 快適な暮らしを守る身近な緑を創出し、良好に維持します。

基本方針Ⅲ みんなで守り育む緑のまちづくりを推進します。

- ・ 緑の将来構造

緑の軸：荒川・崖線・石神井川《資源の質や魅力をさらに高める》

緑の副軸線：《様々な施策の連携による周辺エリアへの緑の拡充》

緑の拠点：大規模公園等《機能の充実・農の緑の保全・生物多様性の向上》

緑化重点地区：区全域《計画事業の総合的な推進による緑の将来構造の推進》

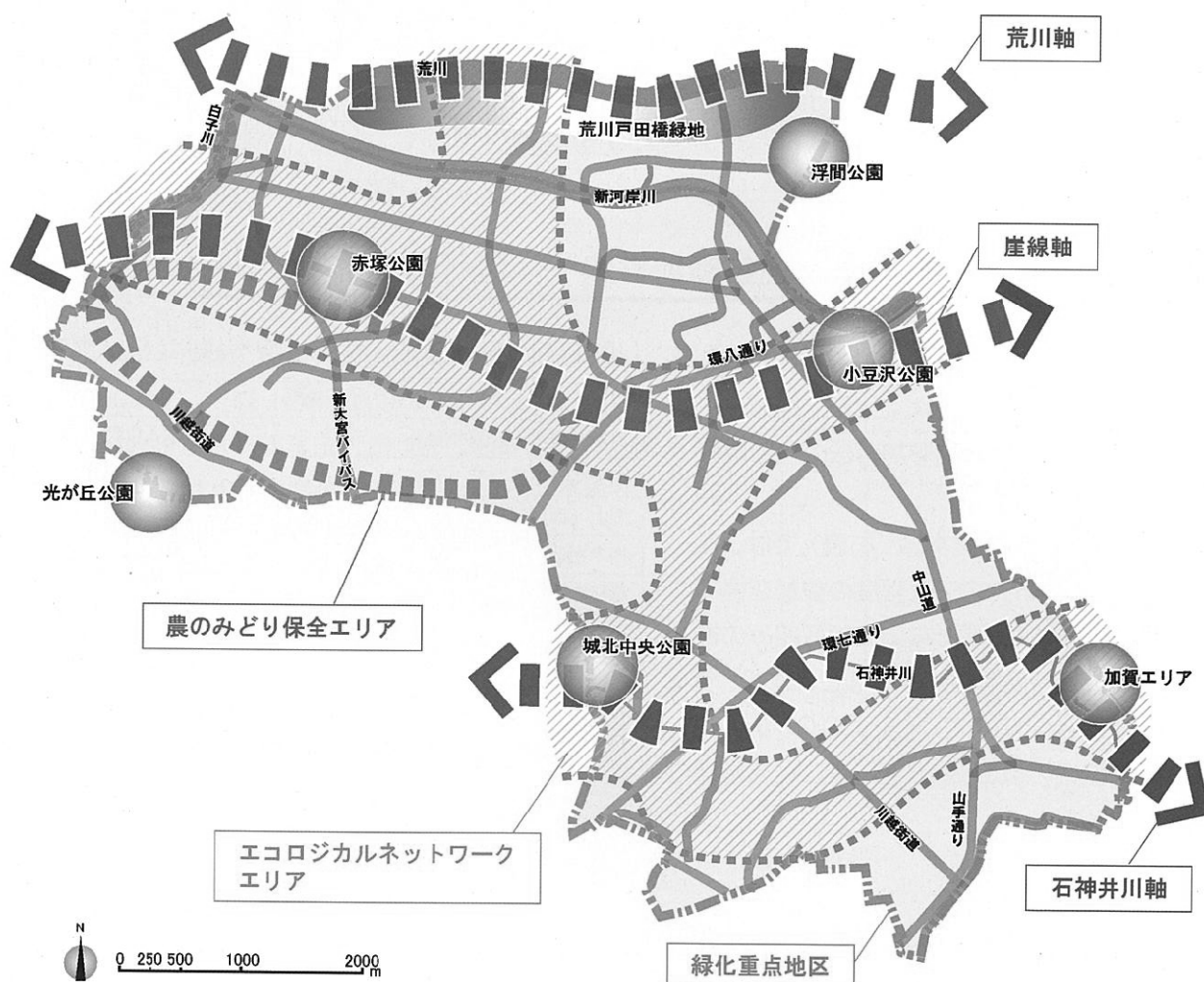


図3-8 緑の将来構造図（いたばしグリーンプラン2020）

3－6 保存樹木・保存樹林

- 平成26年4月1日時点での保存樹木等の指定数量は次のとおりである。
保存樹木：1,802本
保存樹林：33箇所
保存生垣：54箇所
保存竹林：4箇所
- 保存樹木に指定されている樹種で最も多いものがケヤキ（542本）、次いでイチョウ（207本）、サクラ（159本）、スダジイ（116本）である。

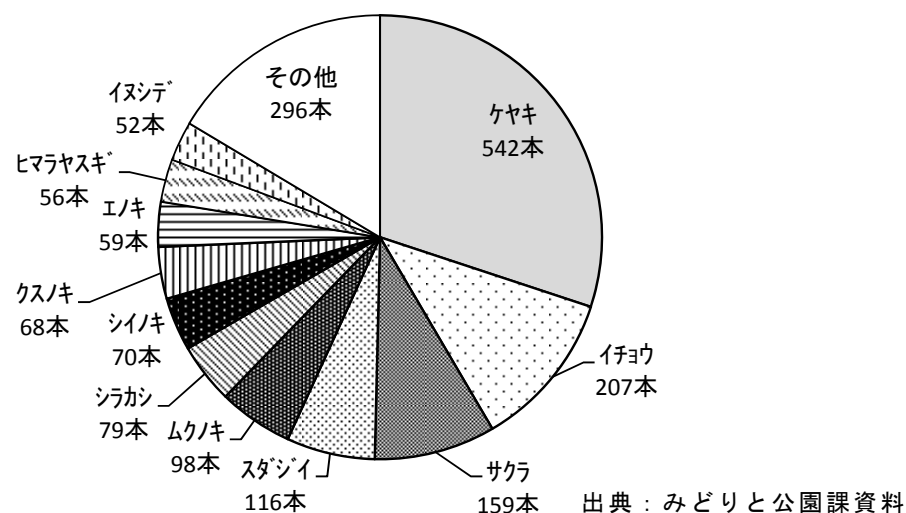


図3-9 保存樹木の樹種別本数

3－7 農地の現況

- 地目別土地面積による農地（畑）面積と生産緑地地区の指定面積の推移を図3-10に示す。
- 平成25年の農地面積は19.91haであり、平成15年（27.48ha）より7.57haが減少している。
- 生産緑地地区の平成26年の指定面積は108,560㎡で、横ばい状態が続いている。

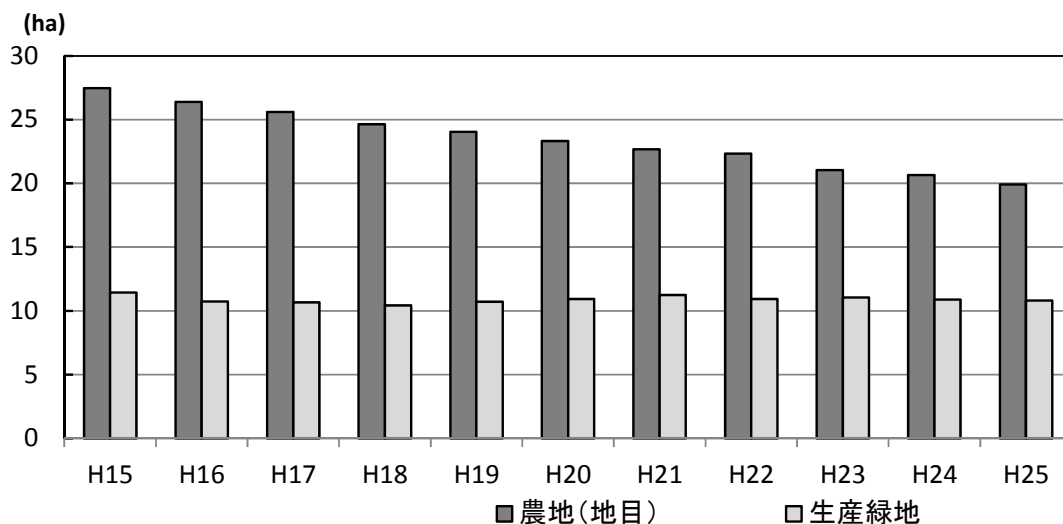


図3-10 畑（地目）の推移（各年1月1日）
出典：農地面積（区統計資料）
生産緑地指定面積（都市計画課資料）